

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2018
6月
No.49

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



[院内専門センターのご案内]

臨床リサーチセンター
「社会に還元できる
医学研究・治験を行います」



看護部 新人さん紹介

85人の新人がAGMCで
看護師としての道を歩み始めました！

- [AGMCニュース] 縫合実習
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき
- ぶらり〜っと病院探訪

クリニカルリサーチセンター



社会に還元できる 医学研究・治験を行います

院内専門 センターの ご案内

複数の診療科・部門を一つに
まとめ、診療機能を統合させた
当院の(センター)を
ご紹介します。

クリニカルリサーチセンターの特徴

クリニカルリサーチセンターは、「研究部」と「治験部」に分かれます。研究部では医師およびメディカルスタッフが「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し医学研究を行うことを推進することを目的としています。

治験部では、GCP「医薬品の臨床試験の実施の基準」と呼ばれるルールを守って、患者さんの負担が大きくなりすぎたり、プライバシーが侵害されたりすることがないように配慮しながら、新しい薬のデータを取得・管理します。

センター長



研究部長
兼 診療部長

佐藤 幸人

- 京都大学 臨床教授
- 徳島大学 臨床教授
- 日本内科学会総合内科 専門医・指導医
- 日本循環器学会 専門医
- 日本高血圧学会 指導医

医師



呼吸器内科
医長

片岡 裕貴

- 日本内科学会総合内科 専門医
- 日本呼吸器学会 専門医
- 日本臨床疫学会 認定専門医

医師



ER総合
診療科
部長

西内 辰也

- 日本救急医学会救急科 専門医
- 日本救急医学会 指導医・専門医
- 京都大学 社会健康医学修士

医師



小児科
部長

加藤 竹雄

- 日本小児神経学会 専門医・評議員
- 日本てんかん学会 専門医・評議員
- 京都大学 医学博士

医師



小児科
部長

小林 健一郎

- 日本小児科学会 専門医
- 日本血液学会 専門医・認定指導医
- 京都大学 医学博士

業務内容

<研究部>

▶ 先端医療推進部

先端医療推進部は当院が中心となって行う産官学連携、多施設共同研究、再生医療などの推進補助を行っています。県立病院で、研究機関として登録されている病院はめずらしいのですが、科学研究費などの公的資金を確保する体制も整ってきたところです。

▶ 臨床研究推進ユニット

病院運営の基本方針である、医療水準向上のための「教育、臨床研究、自己研鑽」に則り、診療を変えるような国際的な研究を発信することを目的としています。医師だけでなくメディカルスタッフに対しても、月1回の研究ミーティング、ワークショップに加えて、倫理講習会、個別研究相談などを行なっています。

<治験部>

薬による病気の治療や予防は、20世紀後半からめざましい進歩をとげました。しかし、全ての病気を制圧できたわけではありません。このため、新しい薬を開発する努力が世界中で続けられています。「薬の候補」を用いて国の承認を得るための成績を集める臨床試験である「治験」を安全に行っています。



皆で協力し、研究を進めています!

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

クリニカルリサーチセンターでは、よりよい未来の医療を研究しています。



看護部 新人さん紹介

85人の新人がAGMCで 看護師としての道を 歩み始めました!

がんばります!!

AGMC看護師
イメージキャラクター
「あまいるちゃん」



4月2日の辞令交付のあと2週間のオリエンテーション期間を経て、4月16日、あまいるちゃんと写真撮影後、各部署に出発していった新人たち…



出発式から早1か月。今はどんな感じかな?

採血等の手技は慣れないので少し不安だけど、患者さんが「やってみー」と言ってくれます。本当にありがたいです

疾患の理解や機器の使い方など難しいけど、少しずつできることが増えてきました

先輩は優しく、丁寧に教えてくれます



病棟に行くのは緊張するけど、楽しく頑張っています

同期が多く、皆で勉強できるので楽しんで学んでいます

研修の様子
(採血)



研修の様子
(救急処置)





縫合実習

形成外科部長・小児形成外科部長
(形成外科長・小児形成外科長)

山脇 吉朗



今年も4月1日付で新研修医の皆さん24名が着任しました。
さっそく各診療科での初期研修が始まっていますが、その中でも1ヵ月に4～5回の救急当番(救急外来当直)は彼らがもっとも緊張する研修ではないでしょうか。

当院救急外来には1日60～70人の患者さんが受診されます。その中にはけがをしてすぐに傷口を縫わないといけない方もたくさんいらっしゃいます。学生のあいだの臨床実習では実際に患者さんを縫うことはなく、研修医の先生には初めての経験になるわけです。もちろん患者さんで練習することはできません。そこで当院では着任後の早い時期に形成外科医が縫合の基本を教える機会を作っています。具体的には朝の1時間で縫合処置の方法とその理論を講義、その後まる一日かけて豚皮を使って縫合の練習を行ないます。実習中はずっと形成外科医がそばにいて手技を指導、最初のうちは糸の結び方もおぼつかなかったのに、外が暗くなり始めるころには、24名皆さんが軽微な外傷であれば対応できるようになっています。若いだけあって習得が早いですね。

形成外科医は「傷・傷跡を治すプロ」です。先日、日本形成外科学会とその関連学会である日本創傷外科学会は、5月5日を「傷 {キッズ(こども)} の日」として傷や傷跡の治療の啓蒙に力をいれていくこととしました。

縫合実習を通じて若い先生方が「傷・傷跡の治療」について興味をもってもらえるようになれば望外の喜びです。



セミナーのご案内



第17回 生活習慣病セミナー

多くの方の
ご参加を!

テーマ 『**糖尿病合併症**』

～いろいろな合併症にあなたは対応できますか～

【講 師】 県立尼崎総合医療センター
●糖尿病・内分泌内科 医師 井出陽子 ●糖尿病看護認定看護師 恒吉慶子

【日 時】 平成30年7月18日(水曜日) 午後2時～4時

【場 所】 県立尼崎総合医療センター 講堂(1階) **参加費:無料(予約不要)**

★お問い合わせ: 外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科) 看護師 ☎ 06-6480-7000(代表)

スタッフのつぎやき

はい。清掃です！

株式会社 誠和管財



清掃という仕事には終わりがありません。けれど時間には限りがあります。限られた時間の中で綺麗だと思ってもらえる様にするには「どうすれば良いのか？」常に考えさせられます。清掃場所に適した道具を使用し、作業手順を守る！この基本が大事なんじゃないか？と思うのです。



若いスタッフも頑張ってます！(^_^)

「これぐらいで良いだろう」と思ってしまうと結局、汚れを見落としたりしてやり直し。なんて事になって、余計に時間がかかってしまうことになります。基本！！そういう当たり前の事が、当たり前ができる！！ そうすれば清掃員としてこの病院のスタッフの一員として見てもらえるのかな？と思っています。厳しいお叱りに涙することもあります。でも、負けるものか！もっと綺麗にしてみせる！と拳を握りしめこれからも日々努力していきます。

ぶらり~っと 病院探訪 

医療機器の管理と手術や治療での操作サポートを担う専門職

臨床工学部



今回は、3階のフロアにある臨床工学室を訪ねました。院内で使用する人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプなどの管理をしているところです。現在、院内には人工呼吸器121台、輸液ポンプ389台、シリンジポンプ427台と非常に多くの機器があるそうです。使用し、返却された機器を点検し、安全に次の部署で使用できるようにしてくれています。多い時で1日80台のポンプが返却されることもあるとのことでした。

ここで働いているのはCE(クリニカルエンジニア)と呼ばれる臨床工学技士です。20名の技士が機器の管理だけでなく、病棟で安全に機器が使用されているかを確認したり、アンギオや手術につき機器の管理をしています。高度急性期病院とあって使用している医療機器の多さにもびっくりしました。

編集後記

私のもうすぐ2歳になる子供は、私が帰宅すると玄関までよちよち歩き、たどたどしい言葉を発しながら笑顔で出迎えてくれます。阪急電車の車内で近くに座った年配の方や、顔なじみになった近所のスーパーのレジ係の方にも笑顔で接し、話しかけていただくきっかけになっています。コミュニケーションの本質は、メッセージ(言語情報)と表情・態度など(非言語情報)を一致させることが大切、ということを我が子の笑顔を通じて学んだ今日この頃です。(H.N.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索